

教材・支援機器活用実践事例

【文字を丁寧に書くことが苦手な生徒への学習支援】

	実施年度	平成29年度	
授業について	教科名	自立活動	
	単元・題材名	運筆	
	授業における教師のねらい	○ 誤字、脱字をなくして、正確に、丁寧に文字や語句を書くことができるようにする。	
	授業における子どもの目標	○ 試験の答案用紙に記入した解答を、一文字一文字、正確にていねいに書くことができる。	
子どもについて	学級・学校・学年	通級指導教室 中学校 2年	
	対象の障がい	ADHD	
	授業形態	個別指導	
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	○ 社会科は得意である。発問には積極的に答えることができるが、文字で書いたときに、字のうろ覚え、誤字、脱字によって、不正解とされることが多い。文字や文章をていねいに書くことで学力の向上を望んでいる。	
教材活用	使用した支援教材の名称	運筆練習用のワークシート (漢字練習用紙)	
	活用のねらい	○ 解答の語句や文字をただ書くのではなく、止め、跳ね、払いなどを意識して、一文字ずつ丁寧に、バランスも意識しながら書くことができるようにしたい。	
授業における支援・教材の配慮事項	○ 文字を書く用紙のマスを大きくし、1ページ当たりの文字数を減らして、大きく、はっきり、丁寧に書くことができるよう配慮した。 ○ 漢字のへんとつくりの関係を台形の枠にあてはめて、へんを小さめ、つくりを大きめに書くことで、バランスよく文字をかくことができるよう、声かけを行った。		
子どもの変容や評価	○ 短い語句や文字についてはいつもより、ていねいに書くことができた。ノートや長い文章の記述においては、今後も指導を継続していくようにする。		